

こんにちはは 日本共産党 いのくま正一です

まさかず

区政報告

56

2004年11月1日

〒105-8511

h p

メール inokuma@cp-ni.nat.okuji.dan.gr.jp

http://www.jp-cp-ni.nat.okuji.dan.gr.jp

FAX 357812947

電話 357812945

港区芝公園1-15-25

日本共産党港区議員団

357812945

357812947

357812945

357812947

357812945

357812947

357812945

357812947

子ども医療費無料(通院も入院も) 中学3年まで拡大 4月から



決議委員会 いのくま区議

来月四月から通院・入院を含め中学三年生までの医療費が無料になります。党区議団は、制度拡充のために、二〇〇五年度にむけての予算要望で、中学生までのすべての医療費無料制度への拡充を要求し、決算委員会でも「来年一月から実施すべき」と質問。区長が「医療費助成の拡大は、平成十七年四月に実施する」と決算委員会で答弁しました。

< 制度拡充の経過 2004年 >

- 1月 党区議団など9名で小学6年生までの医療費を無料にする条例を提案
- 2月 区が小学6年生までの入院医療費無料条例提案。(委員会「早期拡充」の付帯意見つける)
- 9月 党区議団が05年度予算要望で中学3年生までの医療費無料を要求
- 10月 区長が決算委員会で05年4月から中学生までのすべての医療費無料実施を答弁

この制度は、保険適用のすべての医療費が無料になり、乳幼児医療費助成と同じように「医療証」が発行され、窓口での支払いもありません。所得制限もありません。

入院医療費が無料化になりました。この条例が審議された保健福祉常任委員会、党委員の提案もあり、すべての医療費無料を念頭に「早い時期に体制を整え、子ども医療費助成制度の拡充を図ること」との付帯意見をつけるなど、制度拡充の努力が実ったものです。



前都議会議員
くぼた 光

港区で中学生までの医療費が無料になることは画期的なことです。所得制限も無いと言ったことで、全国でも最高レベルの制度実現となります。私は、いのくま区議とともに、保護者のみなさんの声を聞いてきました。「子どもは急に熱が出たりケガをしたりで医療費がかなりかかる。なんとか無料制度を拡充して」との要求を実現できて本当に嬉しく思います。国の制度として確立させるなど、引き続き頑張ります。

固定資産税「減免継続を」 請願採択 意見書も提出

「高い固定資産税から営業と住まいを守る会」、「青色申告会」から九月議会に、「固定資産税の引き続き減免を」との請願が出されました。

請願を審議した総務委員会では「高い固定資産税から営業と住まいを守る会」代表の安彦氏が、「あまりにも固定資産税等が高く税を払えず差し押さえを受けている」などの趣旨説明を行い、「請願を是非採択してもらいたい」と切実な訴えがされました。

引き続き、各党の意見が述べられ党委員の両請願を採択すべきとの意見もあり、全会一致で採択されました。

「固定資産税・都市計画税の軽減措置の継続を求める意見書」を議決しました。東京都に対して、来年度以降も減免を継続するように声を上げましょう。

福社会館のカラオケの機械を新しくして

福社会館のカラオケは、たくさんの年寄りが楽しみにしています。しかし、機械が古く、「カラオケ機械を新しくしてほしい」との要望は強いものがあります。党区議団は、この声を決算委員会で質問しました。区は「順次新しい機種に取り替えていく」と答弁しました。

福社会館17館の中で、10館以上から要望が出されており、「順次」更新でなく、「一刻も早く取り替えるべき」と重ねて要望しました。

古川の悪臭改善を求める

いのくま区議は、決算委員会で「古川の悪臭改善」を求めました。特に夏場は悪臭が酷く、近隣の方からも「なんとかしてほしい」と要望も寄せられています。区は、「今後近隣町会等のご意見をお聞きしながら、東京都に改善を働きかけていく」と答えました。

ちいバス スタート コースなど改善が必要

10月1日から走り出しました「ちいバス」。区民の運動の成果です。同時に今後の改善充実の課題もあります。シルバーバスを購入していない高齢者にも無料対象にすること。バスが走らない地域や区役所などを通るよう路線の新設・拡充。段差のない車両の導入。などです。充実に向け引き続きがんばります。

無料なんでも相談会 毎月第3木曜 18時30分~芝病院。 事前にご予約ください。

出産祝い金支給を提案

特別委員会で検討することになりました

党区議団は9月議会に「出産祝い金の支給に関する条例」を準備し、全会派に共同提案を呼びかけました。港区は出生率が国や都と比べても「0.94」と低下しています。全会派に呼びかけたところ、多くの会派・議員から賛同する旨の意見が寄せられましたが、支給額をどの程度にするか、などの意見も出されました。党区議団は、9月定例会に党単独で条例提案するよりも、様々な意見も含めて、特別委員会で集中的に検討し、「より良い制度実現」をめざす判断をしました。みなさんの意見もお寄せください。

平和の灯 区立芝公園に設置

被爆60年、非核都市宣言20年の来年

「広島・長崎の被爆の実態を風化させず、二度と悲惨な戦争を繰り返さない」との思いを込めた平和の灯が、被爆60年、港区平和都市宣言20周年になる2005年に区立芝公園内に設置されることになりました。

可搬ポンプ積載車 全分団設置へ要望書提出

区内4消防団は、災害時にそなえ生業をもつかわら地域を守るため活動しています。受け持ち範囲が広く、より機動性を発揮するためにも、可搬ポンプ積載車を全分団(19分団)に配備する必要があります。今は、各団1台の合計4台きりです。いのくま区議は決算委員会で、全分団に配備するため東京消防庁へさらに要望せよと質問。区は「引き続き東京消防庁へ要望する」と答えました。また、「議会として要望書を提出すべき」と提案。全会一致で都知事と消防総監宛に提出しました。

小規模契約事業者の登録の募集

区内中小企業者で、区が発注する30万円以下の簡易な契約を希望する事業者の登録受付が行われます。まだ登録をしていない人は、ぜひこの機会に登録してください。この制度は、「中小企業事業者に区の仕事を」との要望を受け、党区議団が機会あるごとに提案してきたものが実ったものです。
【受付期間】12月1日～12月28日
【申請書の配付・受付】契約管財課(区役所10階) 内線2140～2143
資料は11月から同課で配付します。区のホームページでもダウンロードできます。
<http://www.city.minato.tokyo.jp/keiyaku/index.html>

今年の猛暑は、連続真夏日が記録更新など異常気象が社会的問題にもなりました。六月十九日の新聞各紙には、「壁の内側一キロ無風」、「ヒートアイランド悪化の元凶。数十億円のムダに」。な

総合アクセスに改めよと求めています。科学的にも裏付しました。いのくま区議は、決算委員会で「庁内の関係部・課で『ヒートアイランド対策委員会』を設置して調査研究をすすめるべき」と質問。区は、「ヒートアイランド対策委員会の設置も含め検討する」と答えました。

「利用料3%への軽減措置は、特に生活が大変なことから、負担軽減に向け何らかの対応が必要」と、3%の継続の必要性を認め、具体的な検討に入っていることを明らかにしました。ホームヘルプサービスは介護保険の中でも利用の多いサービスです。力をあわせて負担軽減を継続させましょう。

ヒートアイランド現象 具体的対策が必要

区「対策検討委員会」設置も含め検討する

決算委員会でいのくま区議

三宅島に日本共産党調査団 国・都のさらなる対策必要

全島民避難から4年余。来年2月に帰島予定の三宅島に党の調査団(団長・山口富男衆議院議員)が10月15日、三宅村を現地調査(いのくま区議も参加)。火山ガス対策、住宅、畑、漁船など生活基盤は深刻です。港区区内には約100名が避難。安心して帰島できるよう、国・都へさらなる対策を求めています。(写真は深刻な被害状況)



港区の積立金 843億円

毎年大幅な黒字が生まれ、積立金は史上最高額の843億円。区民生活は不況、リストラ、売り上げ減などで深刻です。豊かな財政を区民のために活用させるよう、引き続き奮闘します。

史上最高

ホームヘルプ利用者負担3%の継続を

港区が「なんらかの対応が必要」と答弁

ホームヘルプサービスの利用負担の軽減は、来年三月で国の特別対策が終了します。それに伴って利用者負担は10%になってしまいます。党区議団は、サービスを低下させないためにも軽減策は継続するよう質問してきました。これまで区は、国の共通システムがなくなるので継続は困難と答弁していましたが、今議会では